

科目名	* プログラミング		
担当教員	中原 健志		
対象学年	2年	クラス	[077]
講義室	パソコン教室	開講学期	後期
曜日・時限	金1	単位区分	必
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
講義概要/Class Outline	<p>コンピュータを用いた情報処理とプログラミングの基本についてC言語を用いて学習する。  (達成目標)  ・問題を論理的に分析し、コンピュータで実行可能な段取りを考えることができる。  ・その段取りを基本的なC言語で表現(プログラム)できる。</p>		
講義計画/Class Structure	回	内容	
	1	ガイダンス 受講上の注意、パソコンと開発環境の使用法を説明する。	
	2	画面への出力 printf文を用いて文字列を画面表示する方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	3	変換仕様 変換仕様(%d,%f,%c)について説明し、プログラム演習を行う。	
	4	変数とその表示 変数の使い方と種類、printf文を用いた変数の値の表示方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	5	キーボードからの入力 scanf文を用いてキーボードから入力された数値を変数に取り込む方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	6	式と演算子 プログラム内の計算で用いられる基本的な演算子を説明し、プログラム演習を行う。	
	7	中間試験1 第5回までの内容について中間試験を行う。	
	8	型変換 異なる型のデータ間の演算を説明し、プログラム演習を行う。	
	9	if文 if文を用いて条件によりプログラムを分岐させる方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	10	中間試験2 第8回までの内容について中間試験を行う。	
	11	for文 for文を用いて繰り返し処理を行う方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	12	while文 while文を用いて繰り返し処理を行う方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	13	配列 配列の使用法を説明し、プログラム演習を行う。	
	14	switch文 switch文を用いて条件によりプログラムを分岐させる方法を説明し、プログラム演習を行う。	
学習・教育目標/Class Target	(C)情報技術に関する基礎知識とそれらを活用できる能力を身につける		
評価基準/GradingCriteria	評点(100点満点)のうち60点以上を合格とし、60～69点を可(C)、70～79点を良(B)、80～89点を優(A)、90～100点を秀(S)とする。ただし、03TM以前の受講者については80～100点を優(A)とする。		
評価方法/Grading Method	授業中の演習課題(10点)、中間試験1(20点)、中間試験2(20点)、期末試験(50点)で評価する。		
受講上の注意/Class Rules	毎回の講義に出席して、演習課題を確実に理解すること		
受講制限/Prerequisite			
関連する科目/Related Class	プログラミング ;		
教科書/Text	著者名	高橋麻奈	
	著書名	やさしいC	
	出版社名	ソフトバンク	
	ISBNコード	ISBN978-4-7973-4366-3	
指定図書/Assigned Books			
参考文献/Bibliography			